

校長室だより

令和7年10月3日（金）

～ 『四賀小学校防災の日(9/25)』を実施しました ～



消火訓練の様子です。



消防車両にも乗ることができました。



防災カルタで楽しく学びました。(1・2年生)



避難所運営の仕方を学びました。(5年生)

子どもたちに「防災」の意識をさらに高めてもらいたいと考え、今年度の新たな試みとして、『四賀小学校防災の日』を実施しました。

はじめに全校の子どもたちが校庭に集まり、諏訪市消防団第六分団(四賀・沖田地区)の皆様には火が発生した時の状況を想定した消火の様子を見させていただきました。消防車がサイレンを鳴らして校庭に入ってくる様子、火元を特定した消防団員の方が無線で消火のための連絡を取り合う様子など、子どもたちなりに緊張感をもって見ている姿がありました。また、実際にポンプ車から水を送り、放水するところや水の勢いや高さを目の前で見た子どもたちからは「消防団の人の動きがかっこよかった。」「水があんないきおいで出ると思っていなかった。」など、驚きの声が上がっていました。消火訓練の後、6年生(2名)と教員(1名)が代表で、消防ホースを操作させていただきました。6年生の子どもは、水の勢いの強さに驚いていました。

全校で消火の様子を参観した後は、学年ごとの講座に分かれての防災学習を行いました。1～3年生は消防車両の車の運転席に座らせていただいたり、マイクを使わせていただいたりするなど、普段なかなかできない体験をすることができました。子どもたちからは、「消防団の車の中にいろいろ入っていてすごかった。」などといった感想を聞くことができました。

その後、1・2年生は教室に戻って「防災カルタ」で遊びながら防災についての学習を行いました。「カルタにいろいろな防災の言葉が入っていて、勉強になった。」「防災のカルタをして、防災のときの準備で何をすればいいのかわかりました。」など、カルタを楽しみながら防災のことを学ぶことができたようです。

3年生は、社会科の学習(「くらしをまもる」)と関わらせて、消防署の方のお話を聞きました。勤務の様子や本物の防火服に触れその重さを体感し充実した学習となりました。

4年生は、諏訪市役所危機管理室市民安全係の方(2名)を講師として、「わが家のマイタイムライン」の作成と防災対策について学びました。

5年生は、赤十字奉仕団の皆様を講師として、「避難所の運営の仕方」について学びました。「避難所に具合の悪い人が来たらどうするのか」「トイレが使えないが、どうしたらよいか」など、ゲームを通してどのような対応をしたらよいかをグループで考えました。「災害が起こった時には、「自助(自分の身を守る)」「共助(地域や周りにいる人と協力し合う)」ということを学ぶことができたようです。

6年生は、消防団の方から、消防団の仕事内容や消防団員としてのやりがいなどのお話を聞かせていただくとともに、水消火器を使った消火体験を行いました。

この日の給食も「防災給食」として、「救給カレー(温めなくてもそのまま食べられるパックカレー)」や「袋に入った野菜スティック」など、食器を使わないでメニューにしました。

いつ何時起きるかわからない自然災害に備えたり、防災の知識を持っていたりすることは、自分や家族、地域の人々の命も守ることにつながります。こうした意味からも「四賀小学校防災の日」は、子どもたちの防災への意識を高める学びの多い一日になりました。最後になりましたが、「四賀小学校防災の日」を実施することができたのは、消防団第六分団の皆様(保護者の方もいらっしゃいました)や、赤十字奉仕団の皆様をはじめとする多くの皆様のご協力があったからこそです。

本当にありがとうございました。